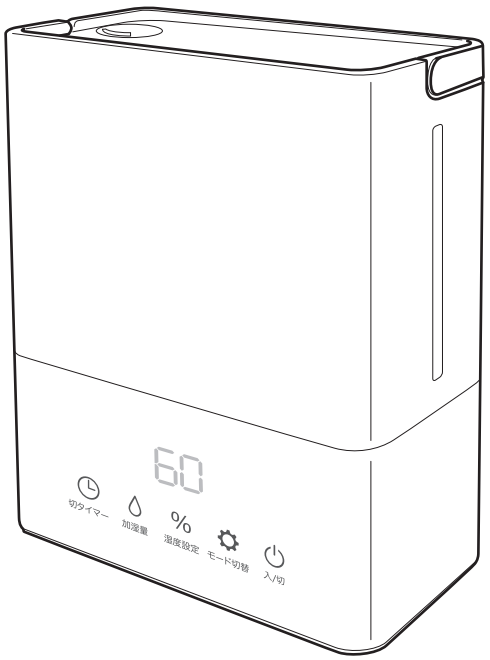
siroca

ハイブリッド加湿器

SHH-140

取扱説明書

保証書つき



お使いになる前に
安全上のご注意 2
仕様 3
各部のなまえ 4
お使いになる前の準備 5
使いかた 6
ご愛用の手引き
お手入れ 9
故障かなと思ったら 10
アフターサービス 11
お客様相談窓口 11
保証書 12

このたびは siroca ハイブリッド加湿器 SHH-140 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

この製品は家庭用です。
業務用にはお使いにならないでください。

※ この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

●表示の説明

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合、障害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

●図記号の説明

⃠ ( )	禁止（してはいけない内容）を示します。
● ( )	強制（実行しなくてはならない内容）を示します。

⚠ 警告

分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない
発火・感電・けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。

禁止

子どもだけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない
感電・けがの原因になります。

水ぬれ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電・故障の原因になります。

禁止

お手入れをするときは、絶対に塩素系・酸性タイプ・酵素タイプの洗剤を使わない
有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。必ず中性洗剤をお使いください。

禁止

吹き出し口や本体の隙間にピン・針金などを入れない
感電・けが・故障の原因になります。

禁止

ミストの噴霧・拡散以外の目的で使わない
医療用吸入器ではありませんので、ミストを故意に吸引しないでください。健康を害する原因になります。

禁止

給水時、直接本体に水を入れない
必ず水タンクに水を入れてください。送風口などに水が入り、ショート・感電・故障の原因になります。

水を給水するときは、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜く
感電・ショート・けがの原因になります。

製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する
製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

＜異常・故障例＞
- 電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- 電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- 本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- 水が漏れる

など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターに点検・修理を依頼してください。

◆ 電源コード・電源プラグについて ◆

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・けがの原因になります。

禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない
電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。
傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む　など

禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしない
たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。

プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
感電やショートによる発火の原因になります。

電源が OFF になっていることを確認してから、電源プラグを抜き差しする
感電・けがの原因になります。

プラグを抜く

お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電・けがの原因になります。

プラグを抜く

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く
使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

電源プラグの刃および刃の取りつけ面に付着したほこりは拭き取る
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。

⚠警告

◆ 設置に関する注意事項 ◆

禁止

不安定な場所では使わない

転倒により水がもれて、周辺の機器や内装品に損害を及ぼす原因になります。また、けが・故障の原因にもなります。以下のような物の上では使わないでください。
※カーペット、ふとん、棚、ベッドテーブル など

禁止

水のかかりやすい場所や、本体の底部がぬれるような場所に置いて使わない

ショート・感電・故障の原因になります。

禁止

テレビやラジオなどの電化製品や精密機器の近くでは使わない

製品が発する電磁波により、テレビ画面のちらつき・雑音などが生じる場合があります。

禁止

湿度の高い場所で運転したり、加湿しすぎたりしない

室内が多湿になり、結露・カビや雑菌の繁殖・故障の原因になります。

禁止

パソコンやテレビなどの電子機器や電気製品・家具・楽器・壁・天井などの近くでは使わない

ミストが触れて対象物の表面がぬれたり、転倒して水がこぼれたりすると、機器の故障や対象物の表面を傷める原因になります。

禁止

犬や猫などのペットの近くでは使わない

ペットが本体や電源コードを傷つけ、火災の原因になります。

禁止

ストーブやガスコンロなど熱源・火気のそばで使わない

変形・故障の原因になります。

禁止

屋外で使わない

ほこりや虫などの混入・故障の原因になります。

⚠注意

◆ 使用上の注意事項 ◆

禁止

運転中に本体を移動しない

転倒により水がもれて、周辺の機器や内装品に損害を及ぼす原因になります。また、けが・故障の原因にもなります。

禁止

水タンクをはずしたまま運転したり、運転中に水タンクをはずしたりしない

水が噴出して、周辺の機器や内装品に損害を及ぼす原因になります。

禁止

吹き出し口をふさがない

故障の原因になります。

禁止

超音波振動板に直接手を触れない

故障の原因になります。

禁止

本体を倒さない

転倒により水がもれて、周辺の機器や内装品に損害を及ぼす原因になります。また、けが・故障の原因にもなります。

禁止

本体に寄りかかったり、腰かけたりしない

転倒により水がもれて、周辺の機器や内装品に損害を及ぼす原因になります。また、けが・故障の原因にもなります。

禁止

水タンクにアロマオイルを入れない

故障の原因になります。

本体を運ぶときは、必ず本体を両手で持つ

本体と水タンクは固定されていません。水タンクの取っ手を持たないでください。

必ず常温の水道水（飲用）を使う

ミネラルウォーター・アルカリイオン水・浄水器の水・井戸水などは絶対に使わないでください。水アカが多くなったり、カビや雑菌が繁殖しやすくなります。お湯は変形・誤作動の原因になります。水道水（飲用）は、抗菌処理がされているため、雑菌が繁殖しにくくなっています。

水タンクは定期的にお手入れをして、常に清潔な状態で使う

水タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ替えてください。お手入れをせずにお使いになると、水アカやミネラル分が付着して、性能が低下する原因になります。また、カビや雑菌が繁殖して、異臭を発したり、健康を害する原因にもなります。

仕様

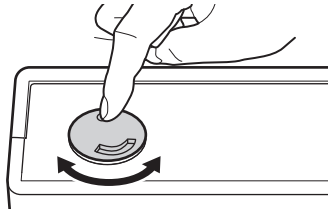
品名（型番）	siroca ハイブリッド加湿器（SHH-140）
サイズ（約）	幅 260 ×奥行 140 ×高さ 310mm
電圧	AC100V
周波数	50/60Hz
消費電力	最大 125W（ヒーターオフ時：30W）
重量（約）	1.8kg（満水時：6.3kg）
容量（約）	4L
加湿量（約）	最大 400ml/h（ヒーターオフ時：最大 350ml/h）

適用床面積の目安 ※ヒーター運転時	木造和室：11m^2（約７畳）、 プレハブ洋室：18m^2（約１１畳） ※日本電機工業会規格（JEM1426）に基づく試験方法により算出
連続使用時間(約)	最大１０時間（加湿量最大で使用時）
加湿方式	超音波振動加湿方式
コード長(約)	1.5m
生産国	中国

⚠ この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

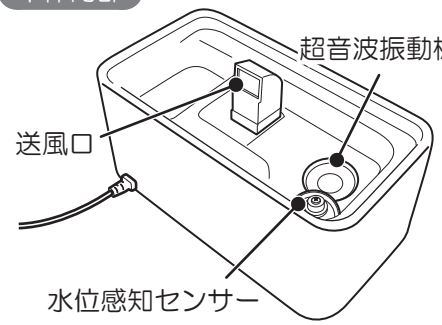
各部のなまえ

吹き出し口

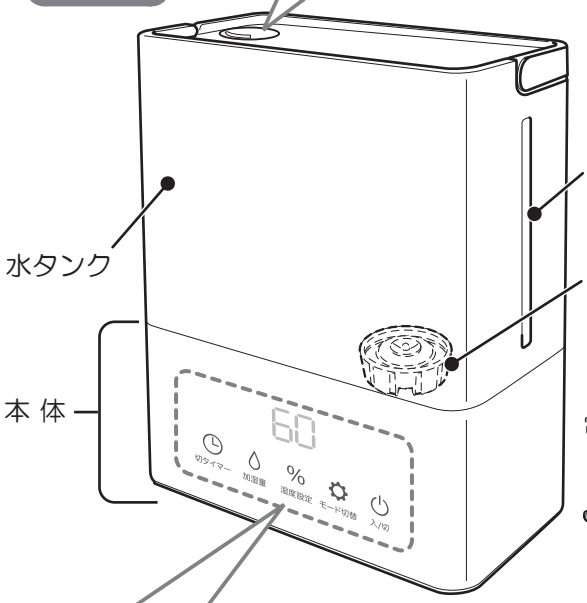


吹き出し口は、左右に回転するしくみになっており、
ミストの噴出方向を調整できます。
※取りはずしができます。

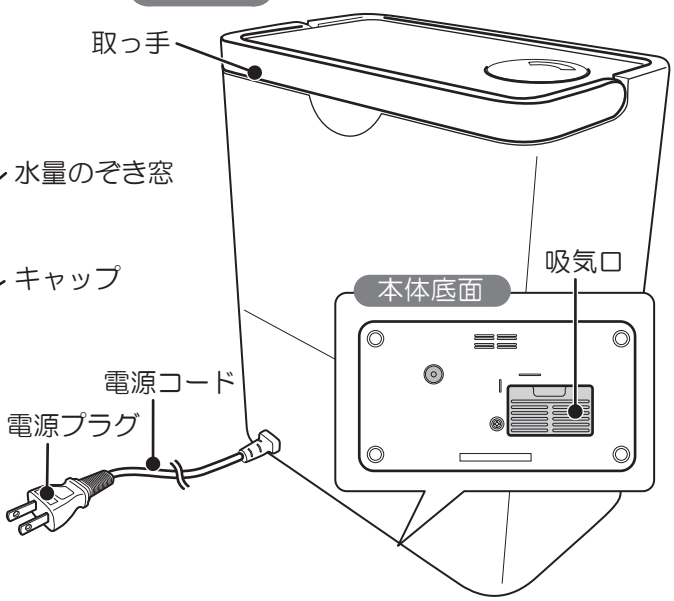
本体内部



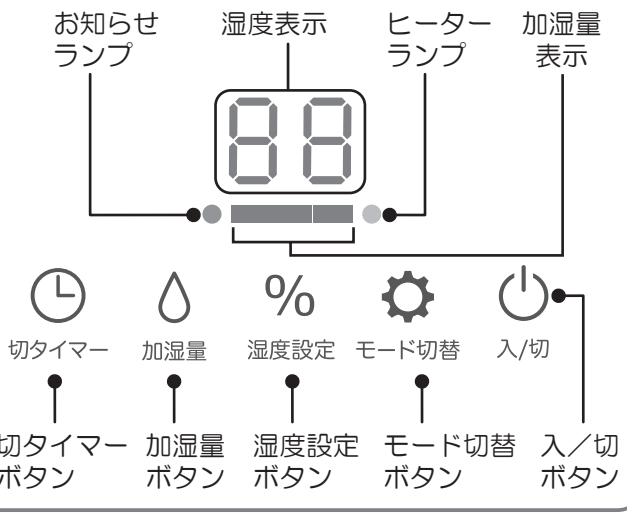
本体前面



本体背面



操作パネル



水位感知センサーの働き

水タンクの中の水が減って、水位感知センサーより低い水位になると、自動的に運転が停止するしくみになっています。
また、水タンクを大きく動かしたり、傾けたりしても、運転が停止します。

転倒時自動電源遮断装置の働き

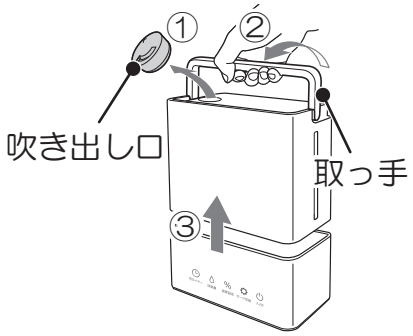
この製品には、転倒時自動電源遮断装置がついており、運転中に本体が倒れたり、傾いたりすると、自動的に運転が停止します。運転を再開する場合は、電源を入れ直してください。

お使いになる前の準備

※ はじめてお使いになるときは、本体内部や水タンクをよく洗ってください。
⇒部品の洗い方については、９ページの「お手入れ」を参照してください。
※ 水タンクに給水するときは、必ず電源プラグがコンセントから抜けていることを確認してください。
※ 水タンクの水は、毎日入れ替えてください。水アカやミネラル分が付着し、故障の原因になります。

1 水タンクを本体から取りはずす

① 吹き出し口を取りはずす。
② 取っ手を持ち上げる。
③ 水タンクを持ち上げる。



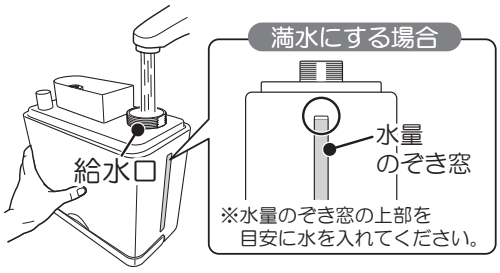
※ 吹き出し口を取りはずしてから、水タンクを持ち上げてください。水タンクを逆さにする際に落下し、破損の原因になります。
※ 水タンクは、ゆっくりと持ち上げてください。本体が倒れるなどして、けがや破損の原因になります。

2 水タンクからキャップを取りはずす

① 取っ手を戻す。
② 水タンクを逆さにし、やわらかい布などを敷いた台の上に置く。
③ キャップを反時計回りに回して取りはずす。

3 水タンクに給水する

● 片方の手で水タンクをしっかりと支えながら、給水口に水を入れます。



※ 給水口に直接蛇口を差し込んで、給水しないでください。破損の原因になります。
※ 常温の水道水（飲用）を使用してください。

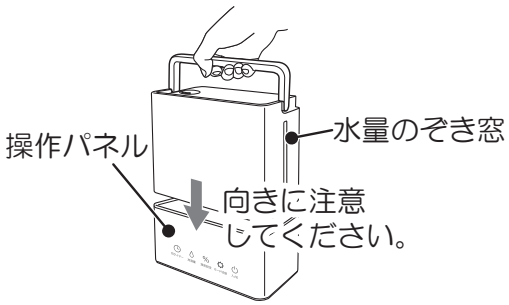
4 キャップを水タンクに取りつける

● キャップを時計回りに回して、しっかり締めます。

※ キャップは確実に締めてください。締めつけが弱いと、水漏れによってお部屋を汚し、感電やショートの原因になります。

5 水タンクを本体に取りつける

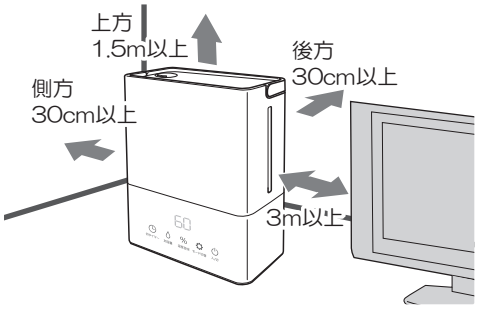
● 水タンクの取っ手を持って、図の向きで本体に載せます。



※ 給水後は、水タンクが大変重くなりますので注意してください。
※ 水タンクの取りつけ・取りはずしの際は、製品に付着した水が本体や周囲に飛びちらないよう注意してください。

操作ボタン	機能
入/切	電源を入れる、または切る。
% 湿度設定	湿度を変える。（40～75%）
加湿量	加湿量を調整する。
モード切替	ヒーターモードを切り替える。
切タイマー	切タイマーを予約する。

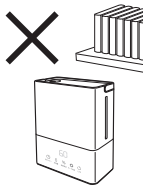
設置場所の目安



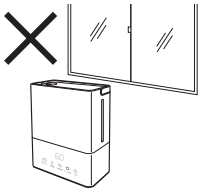
※ 上図の寸法を参考に、本体周囲との距離を十分にとってください。
※ テレビなどの AV 機器や、パソコン機器からは、3m 以上離して設置し、別のコンセントを使用してください。映像や音声の乱れの原因になります。

このような場所には設置しない

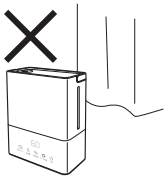
※ 落下物の恐れがある場所に設置しないでください。
物を載せた棚などの下に設置して使用しないでください。落下物が本体にあたり、事故や故障の原因になります。



※ 風通しの良い場所に設置して、窓や冷たい壁からできるだけ離してください。
窓や冷たい壁にミストがかかると、水滴が付き、カビなどが発生する原因になります。
必ず風通しの良い場所に設置してください。



※ ミストが物（家具・壁・カーテン・天井・電気製品など）に直接あたる場所に設置しないでください。
ミストがあたった物に、変形、変色、シミ、故障などの恐れがあります。また、電気製品にミストが当たることで、ショート・故障・誤作動の原因になります。



※ 不安定な場所（傾斜のある場所や、凹凸のある場所など）には設置しないでください。
本体が傾くと、「転倒時自動電源遮断装置」が働き、自動的に運転が停止します。

※ 本体底面の吸気口をふさがれる物（毛足の長いじゅうたん・電気カーペット・ふとんなど）の上に設置しないでください。
吸気口がふさがれると、ミストの出方が悪くなったり、本体内部の温度が上昇して、故障や誤作動などの原因になります。

使いかた

運転を開始する

1 電源プラグをコンセントに差し込む

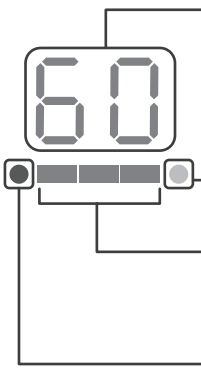
● 電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
●「ピッ」という音がします。

2 操作パネルの入／切ボタンを押して、運転を開始する

- 「ピッ」という音がして、前回電源を切ったときの設定で運転が開始します。
- 設定表示パネルに設定内容が表示されたあと、現在湿度の表示に切り替わります。
- 設定後、操作ボタンを１回押すと、設定した内容が確認できます。

入/切

設定表示パネルの見方

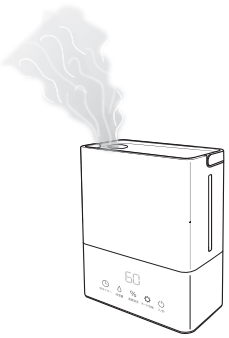


湿度表示
設定湿度、または現在の湿度が表示されます。
Lo：湿度が25%を下回っているときに表示
Hi ：湿度が85%を上回っているときに表示
※ 表示される環境湿度は目安です。お使いの湿度計の表示とは値が異なる場合があります。

ヒーターランプ
ヒーターモード中は、常時点灯します。

加湿量表示
加湿量の設定が３段階で表示されます。
※現在湿度が設定湿度より高い場合も点滅します。

お知らせランプ
赤く点滅します。



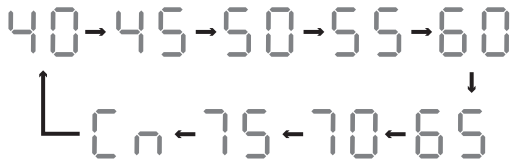
お知らせランプが点滅した場合は

水タンクに水がなくなったときや、水タンクが本体に正しく接続されていないときは、水位感知センサーが作動します。お知らせランプが赤く点滅して、「ピッ」という警告音が５回連続で鳴ります。必ず電源を切って、電源プラグを抜き、水タンクに新しい水を入れるか、正しく接続し直してからお使いください。
給水せずに使い続けると、自動的に運転が停止します。

湿度を変える

操作パネルの湿度設定ボタンを押すたびに、設定湿度を 5%ずつ上げることができます。

- 湿度は 40%から 75%の範囲（5%単位）で設定できます。
- 湿度設定ボタンを押すごとに、湿度の設定値が以下の順に表示されます。



%
湿度設定

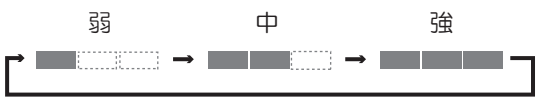
※ 湿度設定表示は、５回点滅して数秒後に現在湿度表示に切り替わります。
※「Cn」表示は、現在湿度にかかわらず加湿を続ける連続運転設定です。
- 現在湿度が設定湿度を上回ると、自動的に運転が停止し、設定湿度を下回ると、自動的に運転を再開します。

※ 運転が停止しているときは、「加湿量表示」が点滅してお知らせします。

加湿量を調整する

操作パネルの加湿量ボタンを押すと、加湿量を調整できます。

- 加湿量は、弱 / 中 / 強の３段階で調整できます。
- 加湿量ボタンを押すたびに、加湿量が 1 段階上がり、「強」のときに加湿量ボタンを押すと「弱」に戻ります。加湿量表示は以下の順に表示されます。



加湿量

ヒーターモードを切り替える

操作パネルのモード切替ボタンを押すたびに、ヒーターモードの作動／停止を切り替えることができます。

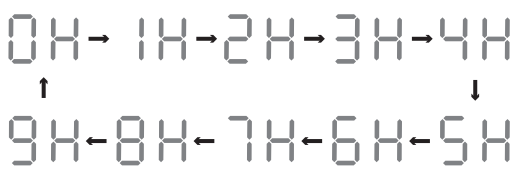
- ヒーターモードは、本体内部の水を温めることで加湿量を増やして、急速に湿度を上げるための機能です。
- ヒーターモード作動時は、ヒーターモードランプが常時点灯します。

※ ヒーターモードは、暖房器具のように部屋を暖めるための機能ではありません。
※ ヒーターモードをオンにすると、本体が熱くなります。

切タイマーを予約する

運転中に、操作パネルの切タイマーボタンを押すと、予約した時間になると、自動的に運転が停止するように切タイマーを設定できます。

- 切タイマーは１時間から９時間までの範囲（1 時間単位）で設定できます。
- 運転中にタイマー設定ボタンを押して、自動的に運転が停止するまでの時間を設定してください。切タイマーボタンを押すごとに、切タイマー時間が以下の順に表示されます。



※ 切タイマー表示は、５回点滅して数秒後に現在湿度表示に切り替わります。
- 切タイマーの予約を解除する場合は、切タイマーの時間を０時間（0H）に設定し直してください。
- 操作パネルの入／切ボタンを押して電源を切ると、切タイマーの予約も解除されます。

運転を終了する

1 操作パネルの入／切ボタンを押して、運転を停止する

- 「ピッ」という音がして、湿度表示が消灯します。
- 運転を停止しても、設定内容は保持されます。次回、運転を開始する際は、停止した時点の設定内容で運転が開始されます。

2 電源プラグをコンセントから抜く

- ヒーターモードがオンの場合、運転停止後、約５分ほど待ってから抜いてください。

※ ヒーターモード運転を停止したとき、製品内部を冷却するため、約５分ほどファンが回ります。ファンが停止するまで電源プラグを抜かないでください。

⇒ 残った水の捨てかたやお手入れのしかたについては、９ページの「お手入れ」を参照してください。

※ 運転終了後は、残った水を必ず廃棄してください。お手入れをせずに保管すると、水アカやミネラル分が付着し、においや故障の原因になります。

お手入れ

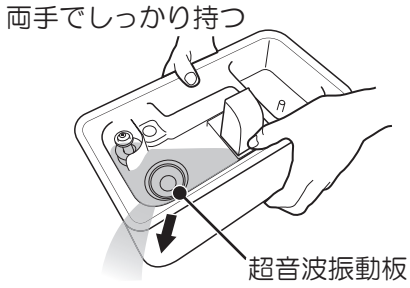
定期的にお手入れをして、常に清潔な状態でお使いください

※ 必ず、コンセントから電源プラグを抜いてお手入れをしてください。
※ 絶対に塩素系・酸性タイプ・酵素タイプの洗剤は使わないでください。有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。
※ ベンジン・シンナー・アルコール・みがき粉は使わないでください。傷・変質・変色の原因になります。

水の捨てかた

本体内部の送風口に水が入ったり、電源プラグがぬれたりしないように、必ず図の向き（超音波振動板がある方）で水を捨ててください。

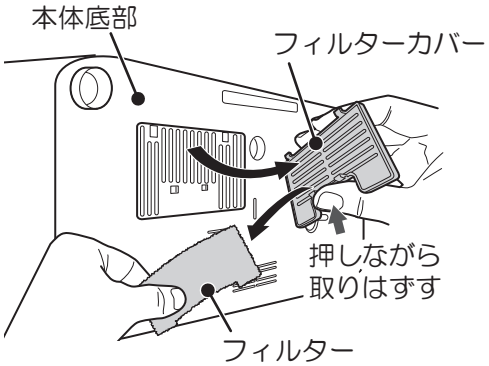
※ 使用後、水タンクと本体内部に残った水は必ず捨ててください。カビや雑菌が繁殖する原因になります。



本体外部

やわらかい布を少しぬらして、固くしぼって拭く

● 本体底面の吸気口にほこりなどがたまっているときは、フィルターカバーを取りはずし、フィルターに付着したほこりなどを、ブラシなどで取り除いてください。



本体内部・水タンク

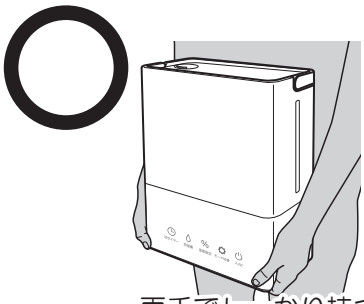
水洗いをして、やわらかい布で拭く

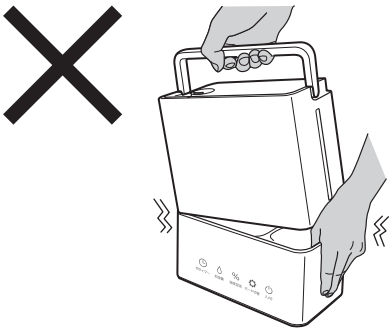
※ 水タンク内の送風口に水が入ったり、電源プラグがぬれたりしないように注意してください。

● 水タンク内の超音波振動板にカルキ分などの白い粉が付着した場合は、綿棒などで軽くこすって汚れを取り除いてください。

本体を持ち運ぶときは…

本体を移動するときは、必ず本体の下部を両手で持って移動してください。





故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、ご確認ください。

こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた
電源が入らない。	本体が傾いていませんか。	本体が傾いていると、「転倒時自動電源遮断装置」が働いて、運転を停止するしくみになっています。安定した場所に設置してお使いください。
	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	入／切ボタンがオフになっていませんか。（湿度表示が消灯していませんか）	入／切ボタンをオンにしてください。運転中は、湿度表示が緑色に点灯します。
本体から水がもれる。	水タンクが本体に正しく取りつけられていますか。	水タンクを正しく取りつけてください。
	キャップが水タンクに正しく取りつけられていますか。	キャップを水タンクに正しく取りつけてください。
	室内が低温、または湿度が高い状態ではありませんか。	低温、多湿の場所では、本体が結露する場合があります。タオルなどで水滴を拭き取ってください。
部屋の湿度が上がらない。	部屋が適用床面積より広すぎませんか。	部屋の広さや材質、換気状況によって加湿状況は変化します。設置環境を確認してください。
	換気をしていませんか。	
ミストが吹き出し口から出ない。または、使用中にミストが止まった。	水が水位感知センサーの高さまで入っていますか。（お知らせランプが赤色に点灯していませんか）	水位が水位感知センサーの高さより低くなると、自動的に運転が停止するしくみになっています。水を補充してください。
	現在湿度が設定湿度より高くなっていませんか。	現在湿度が設定湿度より高くなると、自動的に運転が停止する仕組みになっています。現在湿度が設定湿度より下回ったとき、運転を再開します。加湿を継続して行いたい場合は、「Cn」に設定してください。
操作ボタンを押しても運転しなくなった。	現在湿度が設定湿度より高くなっていませんか。	現在湿度が設定湿度より高くなると、自動的に運転が停止する仕組みになっています。現在湿度が設定湿度より下回ったとき、運転を再開します。加湿を継続して行いたい場合は、「Cn」に設定してください。
本体が熱い。	ヒーターモードがオンではありませんか。	ヒーターモードをオンにすると本体が熱くなります。ただし、触れないほど熱くなったときは故障の恐れがありますので、当社サポートセンターまでお問い合わせください。
ミストの量が少ない。	加湿量が「弱」になっていませんか。	加湿量ボタンを押して、加湿量を「中」や「強」に設定してください。
	運転をしはじめたばかりではありませんか。	水温や室温によっては、運転開始時はミストが少なくなることがあります。そのまま 30 分程運転するとミスト量が安定してきます。
においがする。	本体や水タンクが汚れていたり、水が古くなったりしていませんか。	水タンク、および本体のお手入れをしてください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

- 株式会社オークセール（以下「弊社」）は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残す事があります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
  （a） 修理やその確認 業務を委託する場合
  （b） 法令の定める規定に基づく場合

アフターサービス

保証書（裏表紙）

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

- 保証期間中（お買い上げ日から 1 年未満）の修理
  保証書の規定により、無料で修理いたします。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。
- 保証期間が過ぎている（お買い上げ日から 1 年以上）修理
  修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

保証期間

お買い上げ日から 1 年間となります。

補修料金のしくみ

補修料金は技術料（故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金）と部品代（修理に使用した部品の代金）などで構成されています。

補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。
お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

お客様相談窓口

アフターサービスについてご不明な場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

＜サポートセンター＞	＜修理センター＞
TEL:　03-5413-6125 FAX:　03-5413-7558 E-mail でのお問い合わせ：　info@aucsale.com 受付時間：　午前 10 時～午後 5 時 （土・日・祝祭日、年末年始および弊社指定休業日を除く）	〒 343-0032　埼玉県越谷市袋山 648-5 株式会社オークセール サポートグループ返品・修理センター

サポートセンターからのお願い

- 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直しください。
- サポートセンターおよび修理センターの電話番号／ FAX 番号、住所は予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

siroca の最新情報はこちらでチェック！

siroca公式
Facebook(フェイスブック)
http://www.facebook.com/siroca.jp

チームsirocaのブログ
http://ameblo.jp/siroca/

AucSaleサポートストア
http://aucsale.jp/